

## 第 35 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会【部会③】

日時：2023年9月6日（水）

部会①・部会②・部会③

10:00～12:00（予定）

場所：TKP ガーデンシティ

### 次 第

#### 【部会③】

(1)開会

(2)第 34 回委員会（8/2）部会③の議事録確認 【資料 1】

(3)東海道線への接続形式について 【資料 2】

(4)今後の方針について 【資料 3】

(5)その他

(6)閉会

※なお、資料のなかで個人に関する情報や事業の関係等で非公開である情報については、一部表現を修正しています。その他、写真・図について一部訂正や出典等の加筆・修正をしています。

## 第 34 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会

【資料 1】

### 開催記録 【部会③】

#### 1 開催概要

- 日 時：令和 5 年 8 月 2 日（水）10：00 ～ 12：00
- 場 所：JR 東日本 現地会議室
- 出席者：

表 出席者一覧

委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・谷川 章雄氏（早稲田大学 人間科学学術院 教授）</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古関 潤一氏（ライト工業株式会社 R&amp;D センター テクニカルオフィサー）</li> <li>・小野田 滋氏（鉄道総合技術研究所 アドバイザー）</li> </ul> 欠席 老川 慶喜氏（立教大学名誉教授）
オブザーバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化庁文化財第二課 史跡部門</li> <li>・港区教育委員会事務局 教育推進部 図書文化財課</li> <li>・港区街づくり支援部</li> <li>・東京都 教育庁 地域教育支援部 管理課</li> <li>・東京都 建設局 道路建設部 鉄道関連事業課</li> <li>・東京都 交通局 建設工務部 計画改良課</li> <li>・独立行政法人都市再生機構 東日本都市再生本部 都心業務部</li> <li>・鉄道博物館 学芸部</li> <li>・東日本旅客鉄道株式会社 構造技術センター</li> <li>・東日本旅客鉄道株式会社 グループ経営戦略本部</li> <li>・東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部</li> <li>・東日本旅客鉄道株式会社 建設工事部</li> <li>・京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部</li> <li>・京浜急行電鉄株式会社 生活事業創造本部</li> </ul>
事務局 東日本旅客鉄道(株) 京浜急行電鉄(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本旅客鉄道株式会社 グループ経営戦略本部 品川・大規模開発部門</li> <li>・東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部</li> <li>・東日本旅客鉄道株式会社 建設工事部</li> <li>・京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部</li> <li>・京浜急行電鉄株式会社 生活事業創造本部 他</li> </ul>
サポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パシフィックコンサルタンツ株式会社</li> </ul>

■ 当日配布資料

部会③

- ・ 次第
- ・ 資料 1：羽田空港アクセス線（仮称）整備事業の概要
- ・ 資料 2：試掘調査の結果について

## 2 議事要旨

### 2.1 部会③

#### (1) 開会

#### (2) 羽田空港アクセス線（仮称）整備事業の概要

- 雑魚場架道橋が第 5 橋梁の位置になるが、私の見立てでは当初の石積みはないと認識する。これらを解体するのか。（小野田委員）
  - ← 現計画では支障するため、一部撤去したりアンカーを打設したりする可能性がある。（事務局 JR）
  - 移動などを考える際は調査が必要になるだろう。（小野田委員）
- 資料 2 で図示される、田町駅の線路に直角に入る赤色の部分は何か。（小野田委員）
  - ← 工事中に資材搬入や土砂搬出を行う立坑であり、将来的には地下からの避難路になる。（事務局 JR）
  - 田町駅の下をくぐるのであればこの辺りも調査の対象になる。重ね図で表示してもらえるとわかりやすい。（小野田委員）

#### (3) 試掘調査の結果について

- 結果より、高輪築堤の海側の石垣は確実に存在すると考えてよく、部分的に壊れているかもしれないが基本的には連続すると考えるのが普通である。試掘⑥は石垣の方向が異なり薩摩台場の位置とおおむね一致するため、その時期のものであるという考察は正しいだろうと考える。比較的良好に遺構が残っており、今後地歴調査を行い、想定される遺構がどのようなものか、必要な調査として何が行えるか、これまでの高輪築堤の調査実績からも検討し、今後の試掘の必要性の判断や保護措置の検討を進めていくことになる。（委員長）
- トンネルにせず高架橋で横断できないのかについて、検討されているか。（委員長）
  - ← 高架に関する検討は次回以降の委員会で報告する。（JR）
- 資料 1 の 2 ページで大汐線が東京まで伸びているが、ここではないどこかで跨いで東海道線につなぐことはできないのか。（古関委員）
  - ← こちらも次回以降の委員会で報告する。（JR）
- 今後の対応については文化財行政と打合せを行い進めることが必要である。委員会は委員会で進めるが、行政との調整等をお願いしたい。（委員長）

#### (4) その他

＜全体会・部会①・部会②・部会③終了後＞

- 最後に文化財行政から意見をもらう。(委員長)
  - ← 部会①の京急線連立1工区について、築堤への影響を低減できるような方策の検討をお願いしたい。部会③のアクセス線については積極的に協議を行っていききたい。引き続きお願いする。(文化庁)
  - ← 1工区について低減措置の検討をお願いする。併せて今後は開削部分の本調査の協力をお願いする。アクセス線や4-2街区においても、新たな遺構が検出されれば港区教育委員会と協力し、周知の埋蔵文化財包蔵地への登載を進めていききたい。(東京都)
  - ← アクセス線は世間の関心も高く、文化財発見の公表等のタイミングも含めて、引き続き連携して進めていききたい。(港区)
- 本日はいくつかの懸案事項が少し進み、現状が分かり、進んでいることは確かである。慎重に、誤りのない判断をしていくことが必要であるので、事業者、行政の協力をお願いしたい。以上で議事を終了する。(委員長)

#### (5) 閉会

- 次回委員会は9月6日(水)10時00分より開催を予定する。本日はこれで閉会とする。(事務局)

### 3 議事録

#### 3.1 部会③

##### (1) 開会

(委員長) 次第に沿って進める。

##### (2) 羽田空港アクセス線（仮称）整備事業の概要

(事務局 JR) 資料 1 について説明する。

(委員長) 部会③の設置にあたり、事業の概要を説明いただいた。質問や意見はあるか。

(小野田委員) 雑魚場架道橋がおそらく第 5 橋梁の位置になるかと思う。私の見立てだが、当初の石積みはもうないと認識している。少し解体するのか。

(事務局 JR) 現計画では少し支障するため、一部撤去する可能性がある。またアンカー打設も考えられる。

(小野田委員) 移動などを考える際は調査が必要だろう。

(小野田委員) 資料 2 で図示される、田町駅の線路に直角に入る赤色の部分は何か。

(事務局 JR) 資料 2 の 1 ページ、工事用の立て坑であり、将来的には地下からの避難路になる。工事中は線路内への資材搬入や土砂搬出のための通路となる。

(小野田委員) 田町駅の下をくぐってということであれば、この辺りも調査の対象になるものと思われる。重ね図などで表示してもらえるとわかりやすい。

(委員長) 他になければ、次に進める。

##### (3) 試掘調査の結果について

(港区) 資料 2 について説明する。

(委員長) 質問や意見はあるか。

(委員長) 現状では、高輪築堤の海側の石垣は確実に存在するという考えでよいと思う。部分的に壊れているかどうかは、あるかもしれないが、基本的には連続していると考えるのが普通である。試掘⑥は石垣の方向が東西となっており、薩摩台場の位置とおおよそ一致するため、その時期のものであるという考察は正しいだろうと考える。比較的良好に遺構が残っている。今後は地歴調査をきちんと行うこと、そこから想定される遺構がどのようなものか、必要な調査は何が行えるか、これまでの高輪築堤の調査実績からも検討し、今後の試掘の必要性の判断や、保護措置の検討を進めていくことになる。

(委員長) 議論の出発点として、トンネルにせず高架橋にできないのか、これま

でに検討されたりしているか。

(JR) 高架に関する検討は、きちんと取りまとめて次回以降の委員会で報告する。

(委員長) ぜひお願いしたい。出発点として議論すべきことかと思う。

(古関委員) 資料 1 の 2 ページ、大汐線は東京まで伸びているが、どこかで跨いで東海道線につなぐことはできないのか伺いたい。

(JR) それも含めて次回委員会で報告する。

(委員長) 事業計画について説明いただいた。今後の対応については、文化財行政と打合せを行い進めることが必要と思う。委員会は委員会として進めるが、行政との調整等もお願いしたい。

(委員長) 他になければ、次に進める。

#### (4) その他

(委員長) その他は何かあるか。

<全体会・部会①・部会②・部会③終了後>

(委員長) 他になければ文化財行政から意見をもらう。

(文化庁) 部会①について、京急線連立 1 工区について、築堤への影響を低減できるような方策の検討をお願いしたい。部会③のアクセス線については積極的に協議を行っていききたい。引き続きよろしくお願いしたい。

(東京都) 1 工区について盛土 A への影響の軽減措置の検討をお願いしたい。あわせてトレンチ調査は 8 本で終了となる。今後は開削部分の本調査の協力を引き続きお願いしたい。アクセス線、4-2 街区においても、新たな遺構が検出されれば港区教育委員会と協力し、周知の埋蔵文化財包蔵地への登載を進めていきたい。

(港区) 本日のご議論、また文化財へ配慮いただきありがとうございます。引き続き皆さんと連携して進めていきたい。アクセス線の件は世間の関心も高い。文化財が発見されたことの公表等タイミングも含めて連携して行っていききたい。引き続きよろしくお願いしたい。

(委員長) 以上で議事は終了する。今日は、いくつかの懸案事項が少し進み、現状がわかってきた。進んでいることは確かである。慎重に判断をしつつ、誤りのない判断をしていくことが必要である。事業者、行政の方の協力をお願いしたい。

(委員長) これで終了する。

#### (5) 閉会

(事務局) 次回の定例委員会は、9月6日(水)10時00分より、開催予定です。会場はTKPガーデンシティ品川5Aを予定します。詳細は改めてご連絡させていただく。本日はお忙しい中貴重なご意見をありがと

うございました。閉会とします。

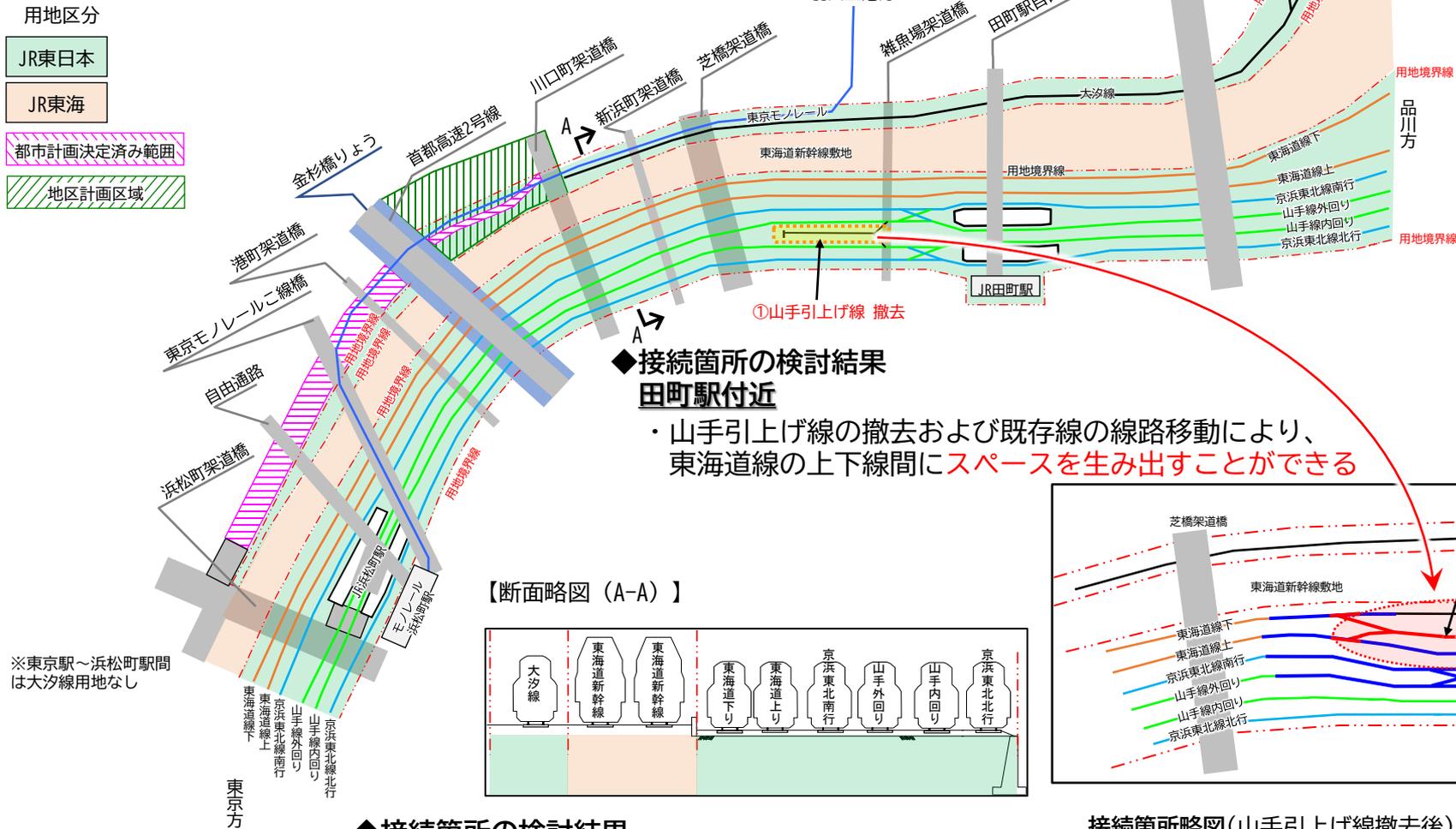
以上

# 接続形式の検討について

## ◆羽田空港アクセス線（仮称）整備の接続箇所の検討条件

- (1) 既存施設（大汐線）を活用して、東京駅からのダイレクトアクセスを可能とするため、**東海道線と大汐線を接続**させる
- (2) 線路沿いは既存ビル施設および東海道新幹線に挟まれており用地拡幅することが困難なため、**当社用地内で接続**する

現状平面略図



## ◆接続箇所の検討結果

### 浜松町駅付近

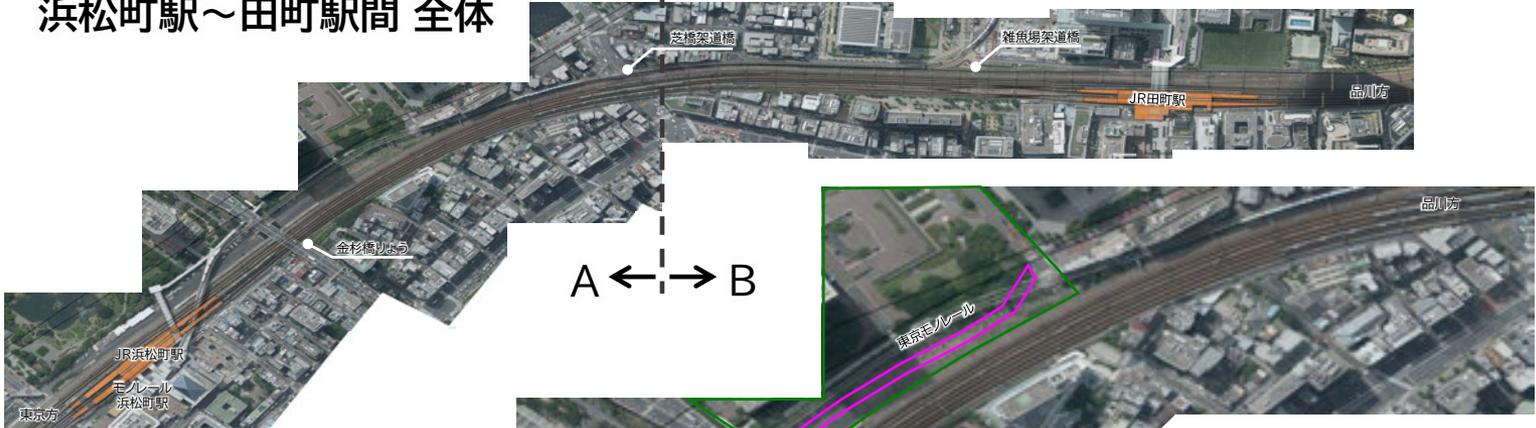
- ・東海道線を分岐させるスペースを生み出せない

## 接続箇所略図(山手引上げ線撤去後)

- 青→引上げ線を撤去した後、線路移動する範囲
- 赤→東海道上下線の間に、アクセス線を新設

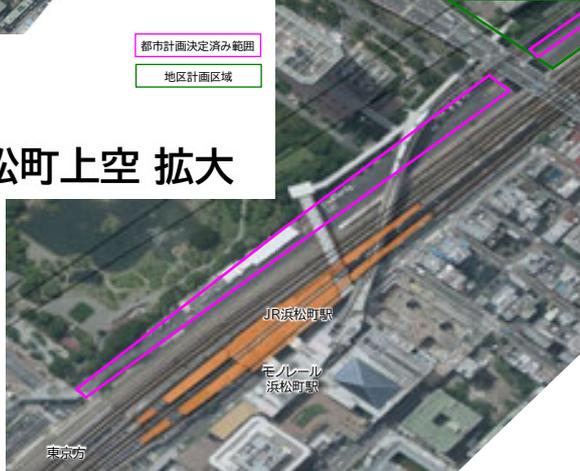
# 浜松町駅～田町駅間の航空写真

## 浜松町駅～田町駅間 全体



都市計画決定済み範囲  
地区計画区域

## A. 浜松町上空 拡大

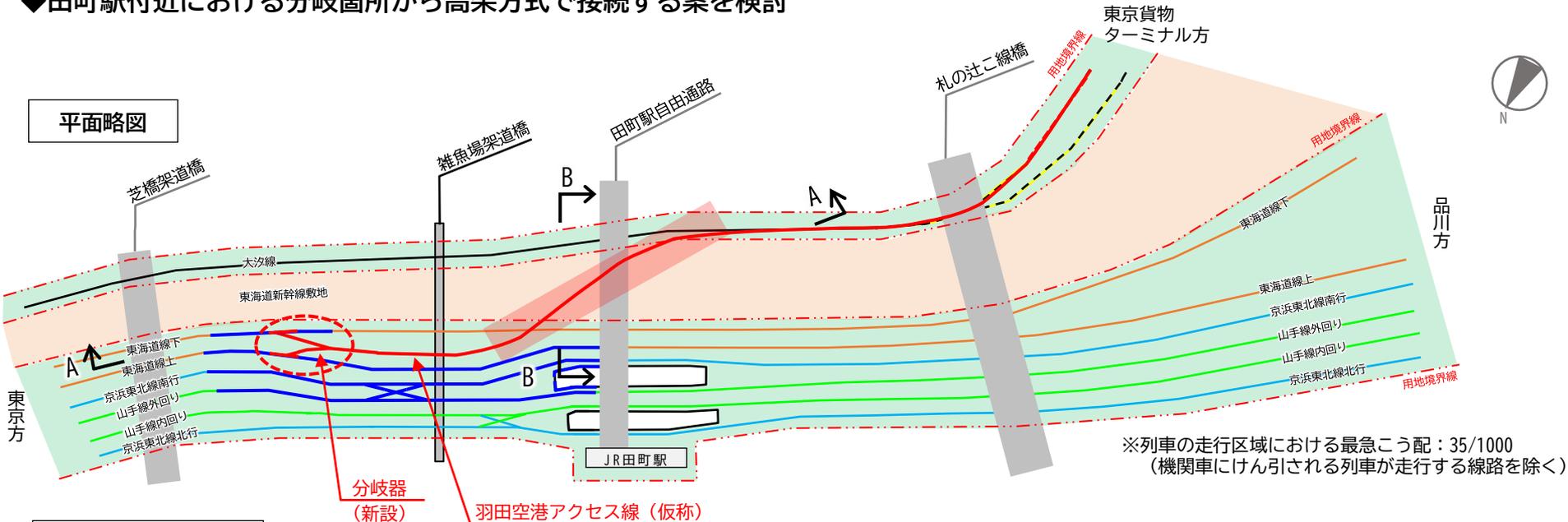


## B. 田町上空 拡大

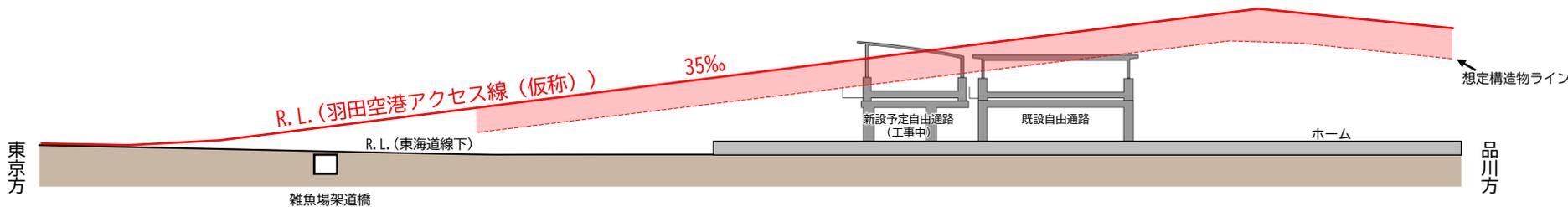


# 接続形式の検討について

## ◆田町駅付近における分岐箇所から高架方式で接続する案を検討

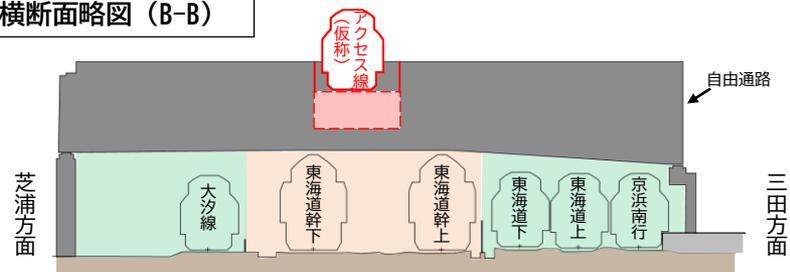


縦断面略図 (A-A)



※構造物の桁高等は想定

横断面略図 (B-B)



## ◆高架方式での検討結果

・高架方式では、田町駅自由通路と支障する

➔そのため、羽田空港アクセス線 (仮称) では地下方式を採用

## 【到達立坑付近】

・工事着手予定箇所の試掘が未了であることから深礎工により試掘を行い、石積の有無、土層状況の確認を行う。

## 【雑魚場架道橋】

・橋台の測量等調査を行い、現状把握を行う。

■ : 古地図概略ライン(明治20年)

■ : 東海道線接続関連構造物

● : 石積出現

● : 石積出現なし

